農山漁村等地域の情報集積を活用した持続的可能な農山漁村等地域育成への貢献

タイトル　ＪＡキッズ京の野菜教室　　ＪＡ名　京都中央　（京都府）

１　動機（経緯）	「食」「農」「地域」を学び、体験する場として、『ＪＡキッズ京の野菜教室』を実施し、思わず足を止めてしまう、楽しさに溢れた学習体験を行い、未来を担う子どもたちに「農業の大切さ」「食べることの大切さ」「いのちの大切さ」を伝える活動を通して、地元を愛する心を育むことを目的にＪＡバンクアグリサポート事業を活用して実施いたしました。
２　概要	１．知ろう！学ぼう！京野菜と資材リサイクル 【教室内容】 子どもたちは京野菜や地元の野菜、農家のお仕事、地元の農産物がどのように子どもたちの手元に届くのか、また、公園や街路樹の手入れで発生した剪定枝と食品工場の活性汚染・処理残渣汚泥を発酵処理した有機資源リサイクル堆肥が出来るまでを学んでいただきました。 ２．京の野菜スクール　≪みず菜・壬生菜の種まき体験≫ 【体験内容】 上記教室で学んだリサイクル堆肥を使い、みず菜と壬生菜の種まきを子どもたちに体験していただきました。
３　成果（効果）	行政が実施される市民祭り等にブースを頂き、延べ４日間４会場で実施しました。 ①平成26年11月2日（日）、大山崎産業まつり：計3回、96名のキッズが参加 ②平成26年11月8日（土）、京の農林秋まつり：計4回、95名のキッズが参加 ③平成26年11月9日（日）、長岡京ガラシャまつり：計4回、55名のキッズが参加 ④平成26年11月16日（日）、向日市まつり：計4回、74名のキッズが参加 合計320名のキッズに参加いただきました。
４　今後の予定（課題）	好評を得ましたので、平成 27 年度も同様にそれぞれの市民祭り等で『ＪＡキッズ京の野菜教室』の実施を計画しており、子供たちの農業への理解促進と安全で安心な京都の農産物に親しんでもらえるよう努めて参ります。

JAキッズ
京の野菜スクール